

## 徳之島事務所（令和8年2月分）管内情勢

### 農林水産業関連

#### 1 たんかんの糖度は高く，生産量は300tの見込み

1月30日に徳之島町にて，徳之島町柑橘生産組合主催のたんかんハサミ入れ式が開催され，生産者・関係者計35人が出席した。

今年度産は着果が少ない傾向であり，生産量は300tを見込んでいる。果実品質については，前年9月以降の降雨が少なく日照時間が長かったことから，全体的に糖度が高く良好な仕上がりとなっている。

当課では，収穫後に樹勢回復を目的とした窒素系葉面散布剤の施用を指導している。



#### 2 徳之島の地域農業を担うリーダーが新たに誕生！

2月3日に県庁にて，県指導農業士，県女性農業経営士，県青年農業士の認定証交付式が開催された。

今回，指導農業士に天城町の貞山博一氏，女性農業経営士に徳之島町の嘉山杏奈氏，青年農業士に天城町の吉川勝也氏が認定された。

式では，知事による認定証交付のあと，各農業士の代表者が決意表明を行った。女性農業経営士代表として，嘉山氏が登壇し，農業・農村を牽引する担い手の一人としての意欲と決意を述べた。

それぞれの立場で，徳之島地域のリーダーとして，今後の活躍が期待される。



### 3 農地の高度利用による所得向上検討会を実施

2月10日に天城町役場にて、徳之島地域総合営農推進本部の各部会から推薦を受けた21人で、徳之島農業における問題点の整理を行った。

徳之島では、主要3品目の「さとうきび」「ばれいしょ」「飼料作物」の作付けが農地6,820haの約95%を占めており、各品目の生産振興を図るためには、限られた農地の高度利用が課題である。

今後、横断的な検討を継続することにより、農地の高度利用における課題解決を進め、徳之島農業のさらなる発展を目指す。



### 4 早熟かぼちゃ現地研修会を開催

2月10日に伊仙町のかぼちゃ生産者ほ場にて現地研修会が開催され、生産者、関係者計20人が参加した。

会では、これまでの生育状況及び今後の管理作業を確認した。早熟作型では、複数果穫りが期待できるが、草勢維持が重要となることから、整枝、かん水、追肥等管理作業の徹底を呼びかけた。また、生産者間で意見交換がなされ、参加者それぞれが情報収集できたほか、新規とベテラン生産者間でつながりを構築することができた。

当課では、生産者の技術習得に向けた支援を継続する。

## 5 実えんどう現地研修会を開催

2月13日に天城町の実えんどう生産者ほ場にて現地研修会が開催され、生産者、関係者計15人が参加した。

会では、これまでの生育・出荷状況及び今後の管理作業の確認を行った。現在、最上位節まで開花しており、今後は莢肥大を促す管理が重要となることから、かん水、適期収穫、摘心の徹底を呼びかけた。また、生産者間で意見交換する時間が設けられ、生産性の高い農家の技術を紹介した。

当課では、生産者の技術習得に向けた支援を継続する。

